

令和4年第10回福祉医療常任委員会 要点記録

開閉会日時		令和4年11月9日（水曜日）		開会	9:54		会議場所		別海町議会 委員会室2・3	
				閉会	11:25					
委員の出欠		1 番	宮越 正人	出席	5 番	外山 浩司	出席	9 番	今西 和雄	出席
		11 番	瀧川 榮子	出席	15 番	戸田 憲悦	出席			
出席説明員	福祉部	福祉部長		福祉部次長		福祉部次長兼保健センター長		福祉部次長兼福祉課長		
		今野 健一	出席	小湊 昌博	欠席	入倉 伸顕	出席	干場みゆき	出席	
		介護支援課長		町民課長		老人保健施設事務長		訪問看護ステーション所長		
		高橋 勇樹	出席	皆川 学	出席	渡辺 久利	欠席	堀 留美	欠席	
		地域包括支援センター長		居宅介護支援事業所長		町民課主幹		保健課主幹		
		九里 富恵	欠席	大道 詳子	欠席	西田 和弘	欠席	齊藤 晴美	出席	
		保健課主幹		母子健康センター師長		福祉課主査		福祉課主査		
		畠澤 みどり	欠席	根本 博美	欠席	澤田 憲一	欠席	大森 晴海	欠席	
		介護支援課主査		介護支援課主査		地域包括支援センター主査		町民課主査		
		岩口 真紀子	欠席	松本 静香	出席	井川 仁	欠席	奈良 司	欠席	
		町民課主査		町民課主査		保健課主査		保健課主査		
		竹本 誠	欠席	木幡 友哉	欠席	阿部 妃江子	欠席	能登 麻奈美	欠席	
		保健課主査		母子健康センター主査		老人保健施設主査				
		佐伯 祐司	欠席	成瀬 広子	欠席	中田 幸規	欠席			
	別海 病院	病院事務長		病院事務課長		病院事務課長		病院事務課主幹		
		三戸 俊人	出席	小川 信明	出席	石戸谷友絵	出席	大森 圭介	出席	
委員外の出席							合計	0名		
事務局職員		主任	小野 絵里				合計	1名		
傍聴者数		一般	0名	報道関係者	0名		合計	0名		

令和4年第10回福祉医療常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 9番 今西	9:54 開会
	出席委員5名、委員外0名、会期1日
委員長 9番 今西	挨拶
	【病院所管事務調査】
病院事務長 三戸	挨拶
委員長 9番 今西	議事1 所管事務調査について
	(1)新型コロナウイルス感染症対策について
病院事務長 三戸	・全国的に9月以降は減少傾向となり、それに伴い10月1日から北海道の病床フェーズも3から2、さらに10月17日からはフェーズ1に引き下げられたため、別海病院においても10月7日からコロナ病床を7床から3床とした。
	しかし、10月中旬から北海道内、別海町内においても陽性者が増加し、11月8日現在、別海病院を受診した方、総務課等との調整で把握している人数として、陽性者は101名、別海病院への入院患者は4名となっている。
	院内の状況として、11月6日に別海病院に勤務する職員が陽性となり、6日から7日にかけて、内科病棟入院患者・関係職員の検査を実施したところ、入院患者1名の陽性が確認された。検査は継続して行っているが、現在のところ入院患者の陽性者は1名となっている。また、院内クラスターという状況にはなっていない。
	これに伴い、コロナ感染者の治療に対応するため、11月8日からコロナ病床を3床から7床に増床した。
	今回の感染者の増加については、今までと同様に家庭内での感染というはあるが、これまでは、感染している地区、学校、施設など割と特定しやすかったが、現在は以前と比較すると感染地域の広がり、感染の要因となる場所が分散している印象がある。また、感染者の年齢層も幼児から高齢者まで幅広く広がっている。
	前回の委員会でも説明しているが、コロナ陽性者が続出している状況であり、別海病院では平日だけではなく、土日祝日も発熱外来を継続して行っている。
	感染は広がっているものの、重症患者はどちらかといえば少ない。7月以降の別海病院の入院患者、延べ10名、他院への入院が3名となっている。陽性となっても無症状の方が多く、ほとんどの方が自宅療養となっている。
	別海町における感染者、年明けから11月8日まで、これも陽性者の報告方法が変更となった関係で、あくまでも別海病院への受診と役場側で把握している陽性者の延べ人数は1,638名となっている。
	先ほどもお話したが、現在のところ別海病院においてクラスターには至っていない状況ではあるが、発熱外来の継続しての開設、また、コロナでの入院患者の受け入れなどで、医師・看護師・検査技師の厳しい勤務状況というのは変わらず続いている。
	さらに11月に入り、感染者増加の兆しが顕著に見られている。病院としても、感染者の治療と感染拡大の抑制に努めるとともに、病院だけではなく、町内の状況も適宜判断し保健所等関係機関と連携しながら、対応を行っていく。
委員長 9番 今西	質疑
委員 11番 瀧川	・オミクロン株対応のワクチン接種が開始されているが、4回目を接種した高齢者の方々から副反応が今までよりも辛かったとの声を多く聞いた。副反応で受診されたケースはあるのか。
病院事務長 三戸	・正確な数字は押さえていないが、副反応が主な要因で受診された方はごくわずかかと思う。

令和4年第10回福祉医療常任委員会 要点記録

副委員長	5番	外山	・感染経路が従来と違い分散しているとのことだが、私の方では保護者の方から各種スポーツ大会でうつたのではないかという話を聞いた。その分散しているという点について、もう少し詳細を教えてほしい。
病院事務長	三戸		
委員	1番	宮越	・委員から話あったとおり、社会活動が活発に行われるようになったことが一番大きな要因かと思う。学校の児童生徒の皆さんは今まで行われていなかった各種大会の開催されるようになったこと、また同じように仕事に勤務されている方も、昨年・一昨年と中止になっていた会議などが開催されるようになった。さらに国の政策による旅行・イベント等の制限緩和など、トータルのものが別海町は都市部ではないにしても影響が出ているというのが、感染源を特定できない要因ではないかと考えている。
病院事務長	三戸		
委員長	9番	今西	・根室管内で別海町は突出して感染者が多いと感じている。別海病院にはさまざまな診療科があるが、現状コロナ関係だけで外来診療のどの程度のウエイトを占めているのか。 ・直近では、感染者数も病院で把握しているだけでも20名を超えていて、それだけの陽性者がいるということは、30-40名発熱外来を受診する患者さんがいるということ。その日の診療科により総体の患者数は異なるが、平均すると10-30%程度の範囲で発熱外来の患者が占めることもあり、ウエイトは高くなっている。また、単に数の問題ではなく、平日では発熱外来の患者は車の中で待機してもらわなくてはならず、医師・看護師はその都度防護服を着て検体採取をするということで、数だけでは測れない負担が大きいというのは確かだと認識している。 ・コロナの感染拡大により、病院の負担が大きくなっている中で対応されている。特にワクチン接種については、他から医師に来てもらい対応するなどしているが、それでも精一杯の中で対応してくれていることが伝わってきている。このことについては大きな課題と捉えている。行政の長とは当然詰めて話していると思うが、何かあれば委員会にも伝えてくれればと思う。 ・コロナの感染者の方も、国で示したような通り一辺倒ではない。現在4名入院しているが、院内感染を別として全員高齢でそれぞれ持病を抱えており、社会的要因など個々人の事情もある。一つにはその受け皿として、道のフェーズ引き上げ前に実情に合わせて病床増やした経緯がある。また、発熱外は午前・午後、かつ休日も開設し、できる限り町内の感染者に対応できるよう対策をとっている。正直これによりダメージを受けているところはある。コロナ対応だけではなく、健康診断・出産等制限をかけているところもあるが、他の診療科は厳しい中でもできる限りの体制はとっていることを御理解いただければありがたい。 また、個人によって病状が異なることと相反するが、他方で負担を軽減するためには、国や道で示しているとおり、体調が悪く薬の処方が必要な時はやむを得ないが、コロナに感染していても健康体で症状がなく、薬の必要ないと判断される方は、市販または町で支給している簡易検査キットで検査いただき、陽性の方はサポートセンターへの報告でとどめるということを徹底していただくことで、結果的に病院の負担、病状が重い患者の待ち時間軽減にもつながる。そのところを行政の方で再度周知していただければありがたい。
病院事務長	三戸		
委員長	9番	今西	・感染症ということでここ数年か対応してきた経過として、自身で対応できる部分について話があった。その部分はこれからのコロナ対応の中で理解してもらおうべく、町民に伝えるべきことのひとつかなと思う。福祉部の調査の中でもその辺話していきたい。
病院事務長	三戸		
			・補足すると、検査キットで陽性となった方はサポートセンターに電話だけしてくださいと言うと、病院は感染したのに対応してくれないのかと捉われがちだが、あくまでも病院としての基本姿勢は、薬が必要な方は遠慮せずに受診してくださいというスタンスであって、報告方法が変わってからも対応している。基本的な対応はこれからの変わらないことは御理解

令和4年第10回福祉医療常任委員会 要点記録

		願いたい。
委員長	9番 今西	・他に質疑あるか。
委員	一同	・質疑なし
委員長	9番 今西	(3)町立別海病院の経営等について
病院事務課長	小川	・資料により説明
委員長	9番 今西	質疑
		・先日、決算審査の総括質疑の中で、収支も含めた病院経営について指摘し、それに対しての回答の中で、病院から今後の経営に関する対応について示されたので、お聞きしたい。
		令和5年から経営強化プランの策定とコンサルタント活用の2つが示されていたが、その点について、現段階でどこまで具体的に進んでいるかわからないが詳細を聞きたい。
病院事務課長	小川	・経営強化プランについては、元々策定していたプランの期限が切れるので、それを更新することが全国の自治体病院に求められている。国の様式にのっとり来年度末までに策定しなくてはならない状況。その中で前回の反省や御指摘も踏まえ、我々の力だけでは及ばないだろうという発想の下、コンサルの活用を検討しているところ。コンサルの活用については、近隣でも導入例があり、我々もR2から導入に向けての検討を始めていたが、ちょうどコロナが発生した時期であったため、コンサルを迎えるべきかどうかも含めその状況を見極める必要があったこと、またコロナへの対応を最優先したため検討作業が遅れた。経営強化プランでは実効性のある内容が求められていることから、この際R5からコンサルの導入する方向では検討中である。
委員	1番 宮越	・診療科の多い少ないなどはあると思うが、今まで独自で別海病院と同規模、また類似の病院との比較したことはあるのか。
		・過去に別海病院の経営状況を判断するため用いていた。人口規模でいうと道内では町立芽室病院が同程度・同規模となると当時判断していたが、規模は同じでも周辺環境が違ふと並列して比較できないというのが正直なところ。別海病院では近隣30分圏内に当病院しかないが、芽室病院だと隣が帯広市ということもあり民間も含め多数の病院がある。選択肢が多くマーケティングの部分では比較にはならない。また、診療科の数では道内で同じようなところはない。そのことも含め我々が持ちうる情報では比較検討の範囲がかなり狭まるため、コンサルと道外の状況も踏まえて判断しなくてはならないということも今回コンサル導入の検討に至った経緯である。
委員	11番 瀧川	・内科で入院患者が減っている状況が確認できたが、現在内科医2名で厳しい状況下で診察に当たられていることと思うが、噂で耳にした話で申し訳ないが、内科医が1名に減ってしまうというようなことはあるのか。
病院事務長	三戸	・そういった話が噂となっていることは私の耳にしているが、少なくとも今年度をもって退職するような話は受けてない。先生もいろいろな都合もあるとは思いますが、今すぐ退職するというような正式な申し入れはない。
委員長	9番 今西	・病院の経営については、いろいろ言われている中で、新年度から経営強化プラン、コンサル導入を計画しているとのこと、課題解決に向けたものが出来上がればいいのかと思う。コンサルを導入してもなお解決できない部分が一番大きな課題なるかなと理解しているので、そこを含め委員会としても、不安材料のある医師の確保の部分についても併せて、継続的に調査していきたい。
委員	1番 宮越	・インフルエンザの感染状況は。
病院事務長	三戸	・現在のところ、別海町内で感染者はいない。
委員長	9番 今西	・他に質疑あるか。
委員	一同	・質疑なし

令和4年第10回福祉医療常任委員会 要点記録

委員長	9番	今西	病院 10:34 終了 休憩
			10:39 再開
			挨拶
			【福祉部所管事務調査】
福祉部長		今野	挨拶
			議事1 所管事務調査について
保健センター長		入倉	(1)新型コロナウイルス感染症対策について
			・資料により説明
			・接種状況について（11月6日現在）
			1回目接種 12,493人 92.3%
			2回目接種 12,453人 92.0%
			3回目接種 10,609人 78.4%
			4回目接種
			65歳以上 3,400人 77.7%
			60～64歳 649人 62.6%
			59歳以下 751人
			※59歳以下は基礎疾患を有する方・医療従事者等が対象
			オミクロン株対応ワクチン接種 1,758人 13.0%
			※オミクロン株対応ワクチン接種率
			町 13.0%、全国 7.3%
			【小児接種】
			1回目接種 451人 51.8%
			2回目接種 441人 50.6%
			3回目接種 73人 8.4% （10月18日～）
			・オミクロン株対応ワクチン接種に係る接種券の発送状況（11月6日現在）
			これまでに全体で7,780通の接種券を発送済み。
			今後の発送予定は以下のとおり。
			11月11日までに発送 R4.8月に4回目を接種した方 1,835通
			R4.8月に3回目を接種した方 59通
			11月下旬までに発送 R4.9月に4回目を接種した方 1,641通
			※11月下旬の発送ををもって、おおむね全ての接種券の発送が完了。
			11月の広報べつかいの折込では、最終の発送を12月末としていたが、1カ月ほど早く前倒して発送している。
			国から年末年始に流行していることを踏まえ、R4.12月末までに接種を受けられるように体制を整えるよう通知が来ている。それを受けて、本町としても接種体制をとっている。
			接種券が届き次第、早期の予約・接種いていただくようを周知している。
委員長	9番	今西	質疑
委員	11番	瀧川	①オミクロン株対応ワクチンについて、高齢者の接種率が低い状況にあるが要因は。
			②高齢者の方でもう4回接種しているし、オミクロン株のワクチンは打たなくてもいいかなとか、副反応が強く出て接種をためらっていると話される方もいる。副反応が強く出て困った等の話や状況など福祉部で把握しているか。
保健センター長		入倉	①要因として、高齢者の方は、前回接種から3カ月以上経過していない方が多く、3カ月経過した方から順次接種券を発送している状況にあることが挙げられる。高齢者の方々は接種券到着後早いタイミングで予約をしてくださる傾向にあることから、興味関心があることが伺える。今後接種率も伸びるものと予想している。

令和4年第10回福祉医療常任委員会 要点記録

		②これまでの従来型の1価ワクチンと比べ、オミクロン株対応ワクチンは2価ワクチンで、これまで重症化予防に加え、発症・感染予防がプラスされているので、国の方でも年内の早期接種を推奨している。副反応については、これまでのワクチンと同様とのことで国から説明を受けている。
委員	11番 瀧川	・4回目接種した後に副反応が強く出たという話も聞いているので、そういう情報は役場で把握されているか。
福祉部長	今野	・接種の回数により副反応が違ふという話は、こちらには入ってきていない。それぞれ1-4回の接種の中で、原因ははっきりしないが、どうしても副反応が強く出る方はいる。特に4回目で副反応が強かったという事案があったということはこちらでは把握していない。
委員	1番 宮越	・最近町内で感染者が増えてきており、コロナへの対応ももう数年続いている状況だが、通常の事務事業に支障は出ていないか。
福祉部長	今野	・負担が全くないとは言えないが、限られた職員で通常業務に加えてのコロナ対応ということで、福祉部に限らず庁内全体で多かれ少なかれ負担がかかっていると思う。その中で庁内全体で協力体制をとっている。例としてワクチン接種では、病院、福祉部、庁内が一体となり対応している状況。収束のめどが立たないため、気持ちの面でいつまで続くのかといった不安はあると思う。ただ、限られた職員でやらなくてはいけないという現実があるので、体調面を十分に留意し、今後も取り組んでいきたい。
委員長	9番 今西	・確認だが、今回のオミクロン株対応ワクチンは2回目の接種まで完了している人が対象との理解でいいか。今後接種する場合は3・4回目未接種の方も、4回目まで接種している方も同じワクチンを接種するということによいか。
保健センター長	入倉	・12歳以上で2回目接種から3カ月以上経過した方が、オミクロン株対応ワクチンを1回打つという仕組みになっている。1・2回目接種した方は3回目として、1-3回目まで接種した方は4回目として、オミクロン株対応ワクチンを接種する形となる。
委員	11番 瀧川	・5歳未満の子どもの接種について、どのような状況になっているか。
保健センター長	入倉	・6カ月から4歳以下の乳幼児への接種については、病院小児科と打ち合わせをし、他の予防接種の終了の目途を見ながら時期を改めて決めていく予定。体制が固まり次第、広報等で周知する。
委員長	9番 今西	・他に質疑あるか。
委員	一同	・質疑なし
委員長	9番 今西	(2)介護職員の充足状況及び環境整備について
介護支援課長	高橋	・資料により説明
委員長	9番 今西	質疑
副委員長	5番 外山	・資料5ページに職員確保に関する介護事業者の意見が掲載されているが、これは福祉部が民間の各事業所にアンケートをとってまとめたものなのか。
介護支援課長	高橋	・町で介護職員確保対策事業を進める上で、各事業所に対して毎年1回アンケート調査を行い、そこで出た意見を掲載している。
副委員長	5番 外山	①意見の中で、介護職の魅力を伝える手立てについて町に協力願いたい、学生が介護の仕事に就きたいと思えるきっかけを作してほしいなどの意見があるが、以前、介護福祉士への奨学金支給を始めた頃、別海高校へ出向いて説明等しているとの話を聞いたが、現在はどのようにになっているか。
介護支援課長	高橋	②中学生の職場体験の場など、教育委員会との連携はどうなっているか。
		①毎年アンケート終了後、11月頃を目途に年1回別海高校へ伺い、町の奨学金や初任者研修について説明・お願いをさせていただいている。
		②中学生の職業体験の意見は、今年度初めて出た意見であるため、教育委員会との間で具体的な調整は行っていないが、これから協議していきたい。

令和4年第10回福祉医療常任委員会 要点記録

副委員長	5番	外山	・この数年で、別海高校から介護の奨学金をもらって進学・就職した実例はあるか。 ・H30から制度開始してR3まで奨学金利用者はいなかったが、今年度1名利用し、進学している。
介護支援課長		高橋	
委員	11番	瀧川	・職員募集状況の職員数には、尾岱沼で開設される事業所の職員数は含まれているのか。 ・この中には含まれていない。
介護支援課長		高橋	
委員	11番	瀧川	・尾岱沼の事業所と町の間で、職員確保の目途は立っているという話はあったか。 ・以前も説明したが、今回の公募に当たり職員が確保できることを前提に手挙げをしていただいている。また、現状としては、資格職、看護師や介護支援専門員などはほぼ確保しているとの報告を受けている。ただ、介護従事者については国基準は満たしていても、それで全ての事業が可能ということではない。交代であったり、その辺りを含めた事業所の方針により、職員の確保を進めている。介護従事者については、順次面接をしており、地元の方からも結構連絡をもらっているとのこと。また、別海町内の他の事業所から職員を引き抜きはしないようお願いはしている。今のところはそのような事例はない。
介護支援課長		高橋	
委員	11番	瀧川	・町で介護ヘルパー2級の養成講座を何回か継続して開催されていた年があったと思うが、かなりの方が受講していたので、まだまだ人材はいるはず。 ・介護サービス事業者協議会設立の説明があったが、主体は行政になるのか。
委員長	9番	今西	
介護支援課長		高橋	・基本的には事業者が設立することになるが、町で準備など協力し、事業者を中心に立ち上げていただく。 ・行政側から事業所に対して、外国人労働者の雇用など具体的な提案等は行うのか。
委員長	9番	今西	
介護支援課長		高橋	・行政側からではなく事業者間で話し合っていたが、職員が不足しているので、外国人を受け入れる取組がしたいなど、どのような対応をしていくかというところを協議会の中で意見をまとめて、行政側へ伝えてもらい、そこを協議していくという流れになる。
委員長	9番	今西	
介護支援課長		高橋	・資料にある事業者の意見は大きく分けると、金銭的なことと職員確保に関することの2つが見えてくるが、今は基準どおりの人員を確保できているが、今後減ってしまうのは目に見えている。この部分は事業者がやるのはもちろんだが、行政側からの働きかけも必要だと思っている。行政の立ち位置はどのようにになっているか。 ・求人等に関するところだが、今回、介護職員確保対策事業の中で、求人広告に関する補助も出しているところ。今年度もいくつかの事業所で利用したいと声が上がっている。町としても検討しているところだが、例えば介護職員が不足していることを広報に掲載してほしいとの声も聞こえてきているので、そういったところを町でフォローできる部分があれば検討させていただく。
福祉部長		今野	
委員	9番	今西	・協議会を早急に設立し、ここの連携を取りながら町としていろいろな課題に取り組んでいきたい。事業者個々の取組については介護職員確保対策事業を活用していただき、協議会では町全体の介護に関する問題・課題解決に向け、全事業者と協力して取り組んでいきたい。 ・町の確保対策ということでは、例えば酪農の担い手確保対策とか、そういう部分でやっぱり行政が中止となって、各関係団体と協議しながら実施している実績もあるので、そういう意味では、介護職員確保についても、同じレベルで行政はそういう立ち位置で、これから設立される協議会の中でもそういう位置づけで取り組んでいただきたいと思う。その辺り、今回説明を聞いて、担当者だけではなく行政に伝えていき、協議会の中身の充実につなげていければいいのかなと思う。
介護支援課長		高橋	
委員	11番	瀧川	・委員長がおっしゃられた内容については、こちらとしても理解しているところですので、これから取組として、いろいろ検討していきたい。 ・協議会は根室管内の1市4町で立ち上げることになるのか。

令和4年第10回福祉医療常任委員会 要点記録

介護支援課長	高橋	・別海町内のみと考えている。中標津町、根室市では既に協議会が設立されている。 ・介護従事者就業支援補助金について、今回新規で開設される尾岱沼の施設に従事する方は対象になるのか。 ・全員とはいかないが、一部の職員が新規就労・復職の区分に該当する。現在、該当職員がどの程度いるか試算しているところ。 ・他に質疑あるか。 ・質疑なし
副委員長	5番 外山	
介護支援課長	高橋	
委員長	9番 今西	
委員	一同	
委員長	9番 今西	閉会挨拶
		11:25 閉会